笑顔カレンダー

発表者名：JACk iN ∞sMiLE代表 吉川 一利

笑顔カレンダー 目次

笑顔カレンダー 概要・各大学Ver. 2ー9
笑顔カレンダー ビジネスサイド・他 10ー15

笑顔カレンダーとは？

写っているみんなは
全て自分の誕生日であり。

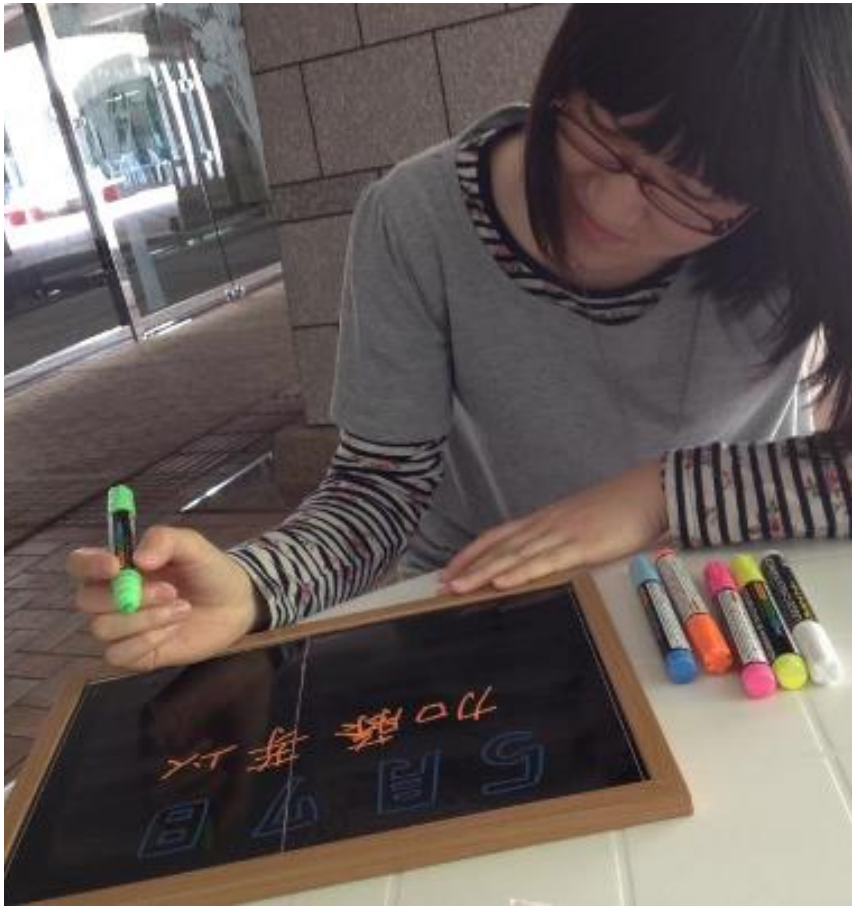
メッセージボードには
「自分の夢」また「復興に対する願い」が書かれます。

カレンダーを見た人が笑顔になって、笑顔が笑顔を呼び。

「笑顔のリレー」

で沢山の人が笑顔になってほしい！！
その想いを実現するため、笑顔カレンダーは作成されました。

笑顔カレンダーは1部1000円（学生500円）で販売。
経費を差し引いた売上は、吉川の母校。
「宮城県 七ヶ浜中学校」再建の費用にあてられます。



笑顔カレンダーの発端

3.11東日本大震災により多数の犠牲者が出ました。
辛く、苦しい状況下の中県外からボランティアにくる多くの人達の笑顔に励まされ、私自身笑顔になる事ができました。

幸い私の自宅は無事でしたが、慣れ親しんだ地元はヒドいダメージを受け沢山の笑顔が失われました。
どんな状況下でも沢山の笑顔に囲まれれば自然と笑顔になる。そんな私の実体験のもとアイデアを練って行動に移し見た人全て笑顔になってほしい！
そんな366人の想いのこもったものが
「笑顔カレンダー」です。

笑顔カレンダーは
2千部発行
内1900部
約30万円が義援金として集まり。
母校である
宮城県 七ヶ浜中学校 再建の費用に当てられます

プロジェクトの概要

- 本プロジェクトの理念

1、みんなを笑顔にすること

2、みんなを元気にすること

3、みんなを楽しくすること

- このプロジェクトの目標定義

→日本各地で笑顔のリレーを起こす事

- このプロジェクトの範囲の定義

→各大学単位での笑顔カレンダーの作成

現在の状態

- 前のマイルストーン以降の進捗状況

  。完了したタスク

  →2012年版笑顔カレンダーの完成

  →宮城教育大学版笑顔カレンダーの完成

  。解決された問題

  →*全国30都道府県の笑顔カレンダーの販売、約30万円が義援金として集まった。*

  。新たに生じた問題

  ・2013年笑顔カレンダー作成費用の不足。

  → 東北企業支援助成選考 選考中（助成金額 最大250万）

現在の状態 2

- 現在のプロジェクトの進捗状況

→2012年版笑顔カレンダーは

大学生企画団体「学都連携プロジェクト」で作成。

▼2013年版は有志団体「JACk iN ∞sMiLE」で作成

▼各大学版

→宮城教育大学　　所属人数 20人

→東北福祉大学　　所属人数 11人 顧問:菅原里江 講師

→東北文化学園大学　　所属人数 28人顧問:豊田正利 教授

→専修大学　　企画中

→法政大学　　企画中

- 上記5校で作成中。※宮城教育大学では2012年版 完成済

笑顔カレンダー作成 問題と解決策

- 問題の説明

→2012年版 笑顔カレンダー印刷費用

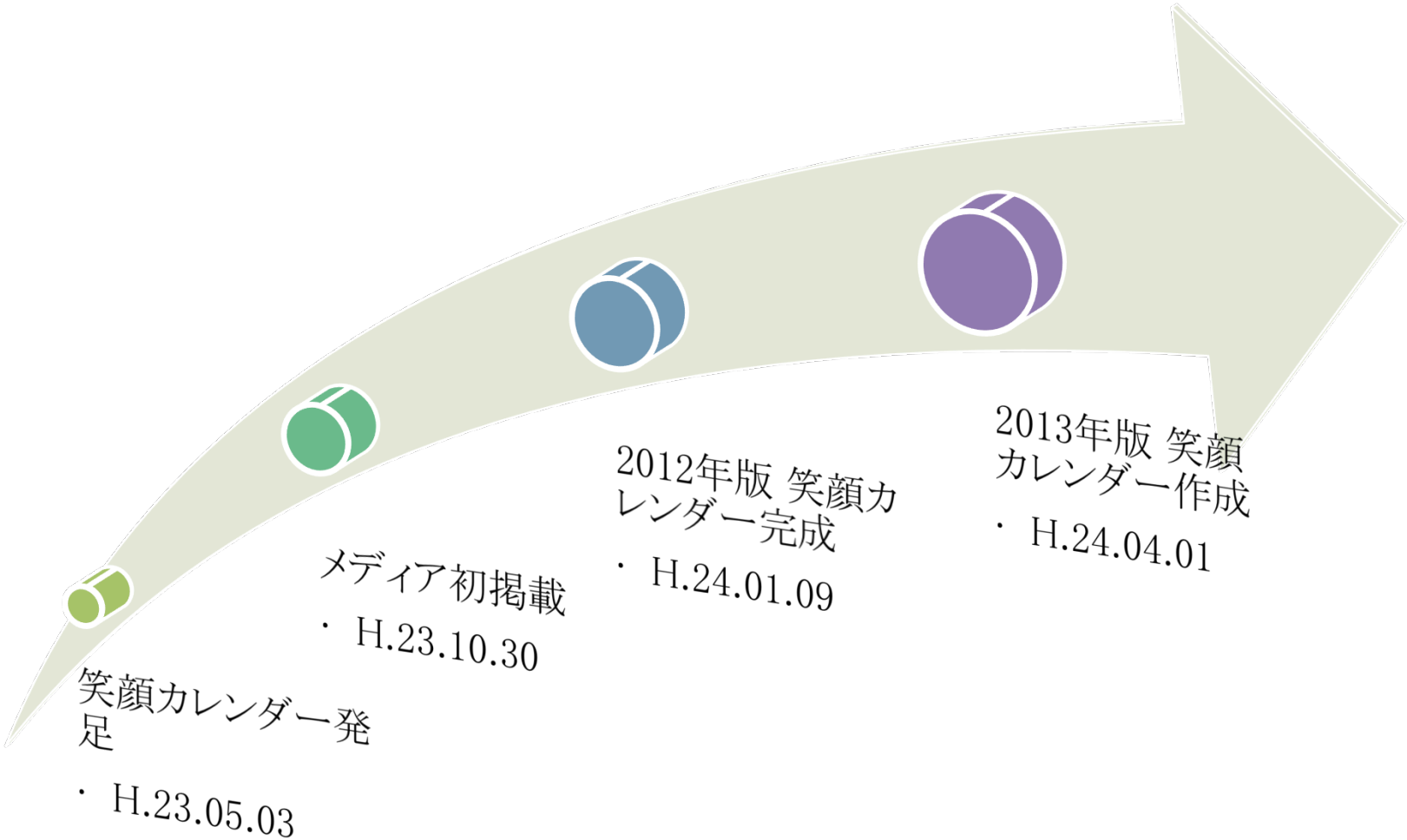
→どうやって笑顔カレンダーを知ってもらうか？

- どのように解決されたか
- →印刷費用：<u>*学生ビジネスプランコンテスト出場*</u>

  助成金:10万円受賞

  →メディア掲載：メディア3社、新聞社3社
- プロジェクトにどのように影響したか
  - 。時間・作成期間 9ヶ月（5月3日ー1月9日）
  - 。コスト・印刷費、ペン、ボード、カメラ、各大学への交通費
  - 。その他・笑顔カレンダーの販売促進

タイムライン


笑顔カレンダー発足
・H.23.05.03
メディア初掲載
・H.23.10.30
2012年版 笑顔カレンダー完成
・H.24.01.09
2013年版 笑顔カレンダー作成
・H.24.04.01

笑顔カレンダー ビジネスモデル

・笑顔が自然と集まり人生で一番最高に幸せな瞬間は？
→結婚式ではないだろうか？？

「Weddingカレンダー」
結婚式の引き出物としてカレンダーを作成。
【2500円で販売】
内 作成費 500円をの利益とする。

・月500部発行
(500部×12ヶ月＝6000部　500円×6000部＝300万円)
※収益の一部を義援金に回す。

笑顔カレンダー ビジネスモデル 2

- 笑顔オークーション方式

→笑顔は1200人以上撮影。

カレンダーには366人掲載可。
必ず載りたい人にお金をもらう。

例:6月10日の誕生日が5人いた場合5人の中で一番多くのお金を払った人がカレンダーに載る事が出来る。
それをHP上で行う。
※収益の一部を義援金に回す。

今後の対策

- 次のマイルストーンはいつか

→各大学毎の笑顔カレンダーの完成

- 期待される成果物は何か

→笑顔カレンダーの認知度が上がる。

→認知度が上がることにより、売上が増える。
よってより被災地支援に繋がる。

→達成感を共有する事によりモチベーションの
上昇。結果、被災地支援のボランティアに
行く人が増えると仮定。

- 既知のリスクと問題

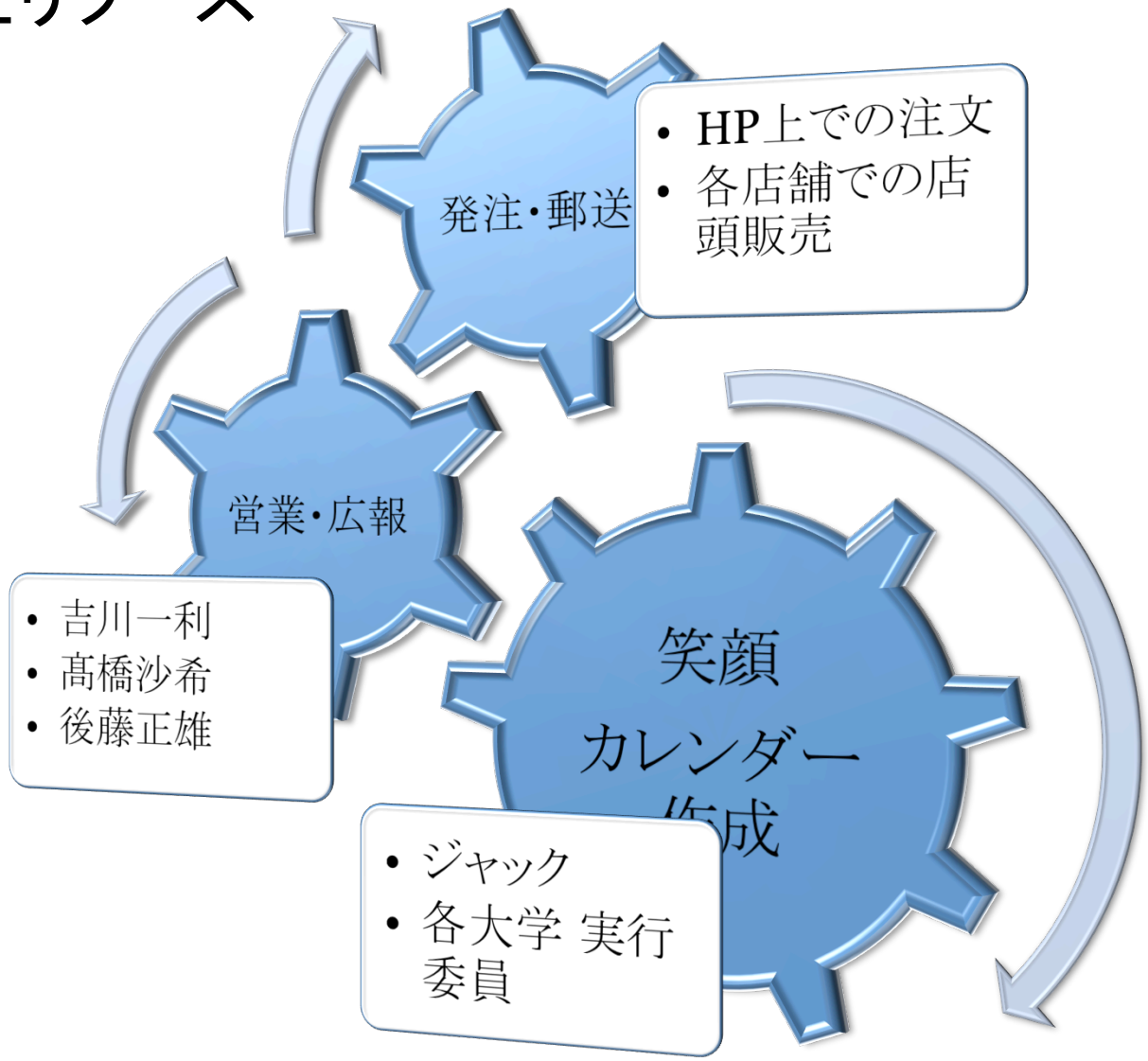
→どのように大学で行ってもらうか？

→笑顔カレンダーを伝統文化としてどう根付かせること。

- 次のステップは何か

→東北での雇用対策・起業

依存関係とリソース


発注・郵送
• HP上での注文
• 各店舗での店頭販売
営業・広報
• 吉川一利
• 髙橋沙希
• 後藤正雄
笑顔
カレンダー
作成
• ジャック
• 各大学 実行委員

メディア掲載

- JACk iN ∞sMiLE HP
- http://www.egao-project.com/
- 読売新聞 資料
- http://www.yomiuri.co.jp/feature/eq2011/news/etc/20120201-OYT8T00827.htm
- 中日新聞 資料
- http://edu.chunichi.co.jp/?action_kanren_detail=true&action=education&no=1921
- 河北新報 資料
- http://ceron.jp/url/www.kahoku.co.jp/news/2012/01/20120128t15034.htm
- 宮城県 復興応援Blog ココロプレス 掲載
- http://kokoropress.blogspot.jp/2012/03/blog-post_2181.html
- ※JR仙台駅3F新幹線ホームデジタル
- サイネージにて1年間笑顔カレンダー掲載
- 中。(仙台駅は1日5万人が利用)

付録 2

・マーケティング計画

7月 起業→営業→メディア広報

8月 ネット販売

連絡先情報　JACk iN ∞sMiLE 代表 吉川一利

Address 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字神明14−1

Tel 080−1680−0306

E-mail blueman0610@gmail.com